

## 無料講座お申し込み方法

2018年度版

【お電話でのお申し込み・お問い合わせ】

TEL 052-678-8101

【FAXでのお申し込み】

FAX 052-678-8105

【メールでのお問い合わせ】

E-mail fukushi-iryo@denpa.jp

- \*日曜祭日を除く毎日受付
- \*受付時間/9:00~17:30 (土曜日は14:00まで)
- \*すべての講座は無料で、交通費も本校で負担します。
- \*複数の講座のお申し込みも可能です。
- \*日程等で調整させていただく場合があります。
- \*A:福祉系、B:メンタルヘルス系、C:医療系に希望講座がない場合や、ご不明な点がありましたらご連絡ください。

担当：教務科 下里

# あいち福祉医療専門学校 無料出前講座

FREE LESSONS PRESENTED BY AICHI COLLEGE OF WELL-BEING & REHABILITATION

## 無料講座申し込み用紙 (FAX用)

(3講座以上お申し込みの際は、お手数ですがコピーしてお使いください。)

高校名： \_\_\_\_\_ 高等学校 \_\_\_\_\_ 〒 \_\_\_\_\_  
(校長先生のお名前) ( \_\_\_\_\_ ) 所在地 \_\_\_\_\_

ご担当者： \_\_\_\_\_ TEL \_\_\_\_\_

希望講座番号： \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

第1希望日時： \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ( ) \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分 ~ \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分

第2希望日時： \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ( ) \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分 ~ \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分

希望講座番号： \_\_\_\_\_

第1希望日時： \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ( ) \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分 ~ \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分

第2希望日時： \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ( ) \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分 ~ \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分

その他：  
 連絡事項等がありましたらご記入ください。  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_

## スキルアップのお手伝いをする20講座

### ◆ A：福祉系 ◆



- ①介護の仕事Q&A
- ②車イス介助
- ③認知症について
- ④お年寄りの自立支援
- ⑤歩行介助
- ⑥視覚障害者体験

### ◆ B：メンタルヘルス系 ◆



- ①心の病気について
- ②障がいを考えてみよう
- ③リフレミング体験

### ◆ C：医療系 ◆



- ①骨を触ろう！筋肉を触ろう！
- ②AEDの使い方講座
- ③リハビリって何？
- ④学習（記憶）に関する講座
- ⑤レクリエーション
- ⑥短時間で身体を柔らかくする講座
- ⑦自助具作り体験
- ⑧良い姿勢とは
- ⑨どうして人は動けるのか
- ⑩アクティビティ体験
- ⑪S S T
- ⑫地域リハビリテーションってなに？

介護福祉学科・精神保健福祉学科・理学療法学科・作業療法学科  
**AICHI** あいち福祉医療専門学校

〒456-0002 名古屋市熱田区金山町1-7-13  
 (金山総合駅南口徒歩1分)

TEL 052-678-8101  
 FAX 052-678-8105

http://fukushi-iryo.denpa.jp/  
 E-mail:fukushi-iryo@denpa.jp



校長 熊崎 正実

本校の教育に深いご理解とご支援をいただき誠にありがとうございます。お陰さまで平成14年度開校後の今、第2世代を迎え一層のwell-being考究に努めて参ります。さて、地域の貢献と高等学校教育の一助になることを願って、高等学校での「出前講座」を企画しています。幸いにも年を追う毎にご依頼が増え、多数の講座を開かせていただきました。今年度も充実した講座内容を揃えてありますので是非ともご利用いただきたくご案内申し上げます。微力ではありますが、この講座によって高校生の皆さんの将来への進路意識と学習意欲がより一層高められることに貢献できれば幸いに存じます。

◆ A : 福祉系 ◆ (1 講座45分)

A-① 介護の仕事Q&A
介護福祉士の仕事内容と将来性について、Q&A形式で理解しましょう。また簡単な介護の仕方やレクリエーションを交えて、介護について理解を深めます。
◆対象 生徒・教職員 ◆準備物 特になし

A-② 車イス介助
車イスの基本的な構造の理解から操作方法を説明し、車イスを利用する人にとって安全で安楽な介助方法を体験してもらいます。(車イスは2台まで本校で用意できます)
◆対象 生徒・教職員 ◆準備物 車イス

A-③ 認知症について
認知症の基礎知識を理解しましょう。そしてお年寄りが住み慣れた地域で暮らせるようにするために、自分自身がどのように働きかければよいのか考えましょう。
◆対象 生徒・教職員 ◆準備物 筆記具

A-④ お年寄りの自立支援(介護)
身近に身体の不自由なお年寄りの方はいらっしゃいませんか。日常生活が不自由な方の支援者として、私たちはどうあるべきか。また、自分自身がどのように関わることができるのかを、理解しましょう。そして支援(介護)の初歩を体験してください。
◆対象 生徒・教職員 ◆準備物 筆記具

A-⑤ 歩行介助
高齢者、障害者の方の歩行介助についての知識や技術を学びます。介助者として、要介護者(モデル)を介助してみる体験をしましょう。
◆対象 生徒・教職員 ◆準備物 筆記具

A-⑥ 視覚障害者体験
視覚障害(全盲・白内障)の方の立場に立って、日常生活のどのようなところに危険があるのかを体験し、その介助方法を理解しましょう。
◆対象 生徒・教職員 ◆準備物 筆記具

◆ B : メンタルヘルス系 ◆ (1 講座45分)

B-① 心の病気について
精神的な「心の病」について、正しく理解しましょう。具体的な疾患や障害についてもお話します。
◆対象 生徒・教職員 ◆準備物 筆記具

B-② 障がい者を考えてみよう
障がい者を正しく理解することは大切です。障がいを持つ人もそうでない人も共に生きる社会を考えてみよう。
◆対象 生徒・教職員 ◆準備物 筆記具

B-③ リフレイミング体験
自分の性格を色々な枠組み(フレーム)に作り直す(リフレイミング)ことで、短所を・長所に変えることが可能となります。このリフレイミング体験を通じて、積極性を身に付けるコツをお教えします。
◆対象 生徒・教職員 ◆準備物 筆記具



◆ C : 医療系 ◆ (1 講座45分)

C-① 骨を触ろう! 筋肉を触ろう!
皮膚の上から、骨や筋肉を実際に触れ、その位置と形を確認しよう。実際に筋肉を動かしてみ、収縮を感じよう!
◆対象 生徒・教職員 ◆準備物 運動着

C-② AEDの使い方講座
最近よく目にするAED(自動体外式除細動器)でも、その使い方について知っていますか?知っていれば万が一の救命処置に大変役立ちますよ。
◆対象 生徒・教職員 ◆準備物 マット・運動着

C-③ リハビリって何?
リハビリテーションの本来の目的を理解していますか。リハビリに関わる職種(主に理学療法士と作業療法士)の紹介とともに、簡単なリハビリの体験をしましょう。
◆対象 生徒・教職員 ◆準備物 筆記具

C-④ 学習(記憶)に関する講座
記憶や学習に関する脳の性質と特性を理解しましょう。そして、物事を効率的に記憶する術を、今後の学習に役立てましょう。
◆対象 生徒・教職員 ◆準備物 PC・プロジェクト

C-⑤ レクリエーション
「あっ!こんな意味が!!」作業療法士が立案したレクリエーションを体験してみませんか。
◆対象 生徒・教職員 ◆準備物 運動着

C-⑥ 短時間で身体を柔らかくする講座
身体を柔らかくすることは、時間がかかり苦痛を伴うと思うのは大きな間違いです。そこで短時間で身体を柔らかくしながら、疲れや痛みを取り除く方法を伝授します。健康は柔らかな身体で得られます。
◆対象 生徒・教職員 ◆準備物 マット・PC・プロジェクト

C-⑦ 自助具作り体験
日常生活が不便になった方に提供する道具(自助具)は普段使っている道具を少し工夫することでつくることができるものもあります。作成体験をしてみましょう。
◆対象 生徒・教職員 ◆準備物 特になし

C-⑧ 良い姿勢とは
良い姿勢とは何かを考え、この良い姿勢を保つことで健康は得られます。日常生活で気をつけたい姿勢を考え、健康増進を図ります。
◆対象 生徒・教職員 ◆準備物 筆記具

C-⑨ どうして人は動けるのか
いつも何気なく行っている日常動作の1つ1つは、数多くの神経・筋・感覚器の働きで成り立っています。補助人工心臓の開発秘話も交えながら身体の制御方法について学びます。
◆対象 生徒・教職員 ◆準備物 特になし

C-⑩ アクティビティ体験
作業療法では、時に様々な手工芸を治療手段として活用しています。その一つを体験しつつ、障がいについて見つめ直してみましょう。
◆対象 生徒・教職員 ◆準備物 特になし

C-⑪ SST
Social Skills Trainingの略で社会生活技能訓練と呼ばれています。認知行動療法の一つに位置づけられコミュニケーションに役立ちます。
◆対象 生徒・教職員 ◆準備物 椅子

C-⑫ 地域リハビリテーションってなに?
人が健康的に暮らす為には、住み慣れた地域での暮らしが必要です。地域における理学療法士・作業療法士の役割を考えてみましょう。
◆対象 生徒・教職員 ◆準備物 特になし

